

事業所における自己評価表結果（公表） 児童発達支援

公表：令和5年2月8日

事業所名 サポートセンターラブラドル

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		感染症対策も考慮し、以前より広い活動スペースを確保しています。	体調面を考慮した上で、活動内容の充実を図ります。
	②	職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>			
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	<input type="radio"/>		出入りにスロープを設置しており、施設内のバリアフリーになっています。障害特性に合わせた備品を個別に準備しています。	今後も定期的に点検を行い、改善に努めます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	<input type="radio"/>		感染症対策としても換気の実施や消毒の実施をしています。	車椅子の方と歩行ができる方、どちらも特性に合わせた活動ができるよう、今後も環境整備に努めます。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>		定期的に職員会議や面談を実施し、業務改善に取り組んでいます。	継続的に実施します。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		<input type="radio"/>		今後利用される保護者の方の意向等を伺い、より良い支援が提供できるよう業務改善を行います。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>		事業所内に掲示しています。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		<input type="radio"/>		
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		職場内研修の実施、外部研修への参加をしています。職員への伝達研修も実施しています。	継続的に実施します。支援の質の向上を目標に、幅広い内容の研修に取り組みます。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>		成長に伴いニーズや課題も変化するため、必要時に検討会議を実施し、職員間で情報共有を行い、計画を作成しています。	個々の成長でニーズが変化することを踏まえ、日々の様子や状況について、職員間で情報共有できるよう努めます。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>		標準化されたアセスメントツールを使用しています。	定期的に職員間で再確認を行い、より良い支援が提供できるように努めます。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	<input type="radio"/>		保護者からの要望やニーズを適切にくみ取れるよう心がけています。	変化するニーズや状況を見逃さないよう、職員間での情報共有も行います。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	<input type="radio"/>		児童発達支援計画に沿った支援を行っています。	感染対策のため、個別での活動中心となったが、その中でも適した支援ができるよう工夫したい。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>		定期的に職員会議を開催し、活動内容について検討しています。	職員会議の回数を増やし、職員間の情報共有の機会も増やしていきたい。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>		休日や長期休暇中は、平日に行えない活動を取り入れています。（おやつ作り、スムーズレン、カラオケ等）	感染対策や体調面を優先させるため、計画通りに活動が行えない時がある。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
提供	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		利用者それぞれの特性を把握し、計画を作成しています。	成長に合わせて状況が変わることも踏まえ、計画を行います。
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日日課担当表を作成し、支援に当たっています。その他、職員連絡ノート等を活用し、情報共有を行っています。	伝達もれがないよう、職員間でコミュニケーションをとりながら業務にあたります。
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		記録を正確にとり、必要な情報については連絡箋に記入し情報共有を行っています。	全体での打ち合わせは難しく、翌日以降の伝達になってしまうこともあるが、連絡箋やミーティングを通して情報共有に努めます。
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎日記録をとり、必要に応じて担当者会議を開催し、支援の内容を検討しています。	利用者様個別の記録用紙を準備し、必要な情報を記入しています。今後も継続して実施します。
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的にモニタリングを実施し、計画の確認や見直しを行っています。	成長に伴い変化するニーズや状況を見逃さないよう、職員間での情報共有も行います。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		主に児童発達支援管理責任者が参画しています。また、必要に応じて、看護職員も参画しています。	継続して実施します。
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		各関係機関と連携し、情報共有を行っています。	細かいことでも、利用者様の変化等があった時は関係機関（主に相談支援事業所）に報告を行っています。
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		各関係機関と連携し、情報共有を行っています。	新型コロナウイルスの影響により、会議等が中止になることが多く、各関係機関と顔を合わせての会議が少なくなっている現状がある。電話やメール等で密に連絡を取り合い、情報共有に努めています。
	㉔ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		主治医からの指示書や、緊急時の対応について連携をとっています。	相談支援事業所を通して、通院に同行させてもらい、主治医からアドバイス等をもらっています。今後も継続していきます。
	㉕ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		各関係機関と連携し、情報共有を行っています。	成長に伴い状況も変化することから、日ごろからコミュニケーションをとり、利用者様の理解を深めるよう努めます。
	㉖ 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		担当者会議や、学校送迎時の申し送り等で情報を共有できるよう努めています。	日頃から相談しやすい関係づくりを心掛け、今後も継続して実施します。
	㉗ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		他の事業所の施設見学の実施、研修等へ参加しています。	今後も継続して行います。
	㉘ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		重症心身障害児の方が利用しており、体調を優先させていることから、交流は行っていませんが、今後検討していきます。
	㉙ (自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		自立支援協議会の子ども部会に参加しています。	会議や研修等に参加した後に、事業所内で伝達を行っています。継続して実施します。
	㉚ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡ノートを活用し、保護者との情報共有を行っています。また、必要に応じて面談を実施しています。	メールでのやり取りも実施しています。今後も継続して実施します。
㉛ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている		○	重症心身障害児に該当される方や、医療的ケアが必要な方が利用しているため、保護者の方から対応の仕方について教えて頂くことが多くあります。保護者の方からご要望があった時は、事業所内で支援内容を検討し、家族支援にも取り組んでいます。	継続して実施します。	
㉜ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		サービス利用時に説明を行っています。また、連絡ノートを活用したり、面談を実施し、支援内容について説明を行っています。	継続して実施します。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ています。	継続して実施します。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている		○	保護者の方から相談があった時は、事業所内で検討し、必要とされる情報の提供を行っています。	保護者の方が相談しやすい関係づくりを心掛け、適切な助言ができるよう努めます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		保護者の方の負担も考え、現在父母の会はありません。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談や申し入れがあった時は、事業所内で検討を行い、対応しています。	今後もできる限り保護者の要望に応えられるよう、検討していきます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		定期的な会報はありませんが、長期休み期間や、行事があった際はお便りや写真等で活動内容を発信しています。	今後も保護者の方に活動の様子がわかるようにお伝えしていきます。
	38	個人情報の取り扱いに十分注意している	○			継続して注意していきます。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		それぞれの特性に合わせた意思の疎通を行うよう心掛けています。	継続して実施します。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		地域の方が参加できる行事を開催していないため、地域の方と交流をする機会が少ないのが現状です。感染症予防の面でも交流は行っておりません。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		各マニュアルがあり、職場内研修を実施しています。感染症対策については、感染症流行期に対応や状況についてお知らせをしています。	継続して実施します。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的に、避難訓練、心肺蘇生訓練、消火訓練、通報訓練等を実施しています。	継続して実施するとともに、保護者へお知らせするようにしていきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		アセスメント時に詳細を確認しています。また、変更等があるときは、保護者と連絡をとり、情報共有しています。	継続して実施します。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		保護者の方から、禁止されている食べ物や発作時の対応について聞き取りを実施し、職員間で情報共有を行っています。	定期的に確認を行い、適切な対応ができるよう努めていきます。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業者内で共有している	○		リスクマネジメント研修を実施しています。過去の事例や、事故や危険が予測される事について、職員間で情報共有を行っています。	ヒヤリハット事例は職員がいつでも閲覧できるようにまとめています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止に関する外部研修に参加している。また、事業者内で伝達研修も行っている。	継続して実施します。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		安全を第一に考え、危険回避のため身体拘束が必要な場合は、保護者に説明し了解を得た上で児童発達支援計画に記載しています。	継続して実施します。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

公表：令和5年2月8日

事業所名 サポートセンターラブラドル

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	<input type="radio"/>			感染症対策により、生活介護利用者との接触を避けるため、児童のみ過ごす、以前より広い活動スペースを確保しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			配置基準を満たしています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>			出入りにスロープを設置しています。施設内もバリアフリーになっています。
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			定期的に職員会議や面談を実施し、業務改善に取り組んでいます。職員会議の回数を増やし、情報共有の機会を増やしていきます。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			保護者の方からの評価表を集計し、職員会議を開催しました。個々の事案について検討し、改善に取り組んでいます。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			事業所内に掲示しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			<input type="radio"/>	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			職場内研修、外部研修に参加しています。今年度はオンラインでの研修に参加しています。
適切 な 支 援 の 提 供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			アセスメントを行い、保護者面談を実施しています。成長に伴いニーズや課題も変化するため、職員間で情報共有をし、計画を作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			利用者様の状況に応じて、職員間で情報共有を行い、活動内容について検討しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			利用者様の状況や体調に応じて、個別の活動を実施しています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<input type="radio"/>			利用者それぞれの課題やニーズを把握し、支援を行っています。（スノーレン、マッサージ、おやつ作り、お手伝い、その他行事など）
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			利用者それぞれの特性を把握し、計画を作成しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>			毎日日課担当表を作成し、支援に当たっています。その他、職員連絡ノート等を活用し、情報共有を行っています。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	<input type="radio"/>			全体での打ち合わせは難しいため、個別に報告を受け、その後職員への情報伝達を行っています。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日記録をとり、必要に応じて担当者会議を開催し、支援の内容を検討しています。
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的にモニタリングを実施し、計画の確認や見直しを行っています。
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	○			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳ 障害者相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			主に児童発達支援管理責任者が参画しています。
	㉑ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			家族や学校、関係各機関と連携し、情報共有を行っております。
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			主治医からの指示書や、緊急時の対応について連携をとっています。
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			相談支援事業所を通して、情報共有に努めています。利用前に保育園等に見学に行かせていただいています。
	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			サービス担当者会議等に出席し、情報の提供、共有を行っています。
	㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			研修に参加しています。オンラインでの研修に参加しています。
	㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	体調や、移動手段を考えると難しいのが現状です。また、感染症対策を優先しているため、外部への積極的な交流はしていません。
	㉗ （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			自立支援協議会のこども部会に参加しています。
	㉘ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡ノートを活用し、保護者との情報共有を行っています。また、必要に応じて面談を実施しています。
	㉙ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	重症心身障害児に該当される方や、医療的ケアが必要な方が利用しているため、保護者の方から対応の仕方について教えて頂くことが多くあります。保護者の方からご要望があった時は、事業所内で支援内容を検討し、家族支援にも取り組んでいます。
保護者への説明責任等	⑳ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			サービス利用時に説明を行っています。また、連絡ノートを活用したり、面談を実施し、支援内容について説明を行っています。
	㉑ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者の方からの相談があった時は、事業者内で検討し、必要とされる情報の提供を行っています。
	㉒ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	重症心身障害児が多く、保護者の負担になる場合もあるため、保護者会の開催はしていません。
	㉓ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			事業所内で事案を検討し、対応しています。
	㉔ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			定期的な会報の発行はしていませんが、お便りや写真で活動内容を発信しています。今後も活動の様子が保護者の方へ伝わるように、情報提供に努めていきます。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	③⑤ 個人情報に十分注意しているか	○			注意しています。
	③⑥ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			個別生が高いため、特性に合わせた意思の疎通を行うよう、心掛けています。
	③⑦ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	地域の方が参加できる行事を開催していないため、地域の方と交流する機会が少ないのが現状です。感染症予防の面でも交流は行っておりません。
非常時等の対応	③⑧ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			各マニュアルがあり、職場内研修を実施しています。また、新型コロナウイルス感染症についての情報を積極的に発信しています。
	③⑨ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			定期的に、避難訓練、心肺蘇生訓練、消火訓練、通報訓練等を実施しています。
	④⑩ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			外部研修への参加、伝達研修、職場内研修を実施しています。今年度はオンラインでの参加となりました。
	④⑪ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			安全を第一に考え、危険回避のため身体拘束が必要な場合は、保護者の方に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しています。（現在、該当者なし）
	④⑫ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			保護者の方から、禁止されている食べ物や発作時の対応について聞き取りを実施し、職員間で情報共有を行っています。
	④⑬ ヒヤリハット事例集を作成して事業者内で共有しているか	○			過去の事例や、危険であることが予測される事について、職員間で情報共有を行っています。ヒヤリハットについては、職員がいつでも閲覧できるようになっています。

保護者向け 児童発達支援・放課後等デイサービス評価表

回収率
100%
(7/7件)

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ
環境・ 体制 整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5	2	0
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	7	0	0
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	0	0
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	7	0	0
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	7	0	0
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	6	1
保護者 への 説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	7	0	0
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	7	0	0
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	7	0	0
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	4	3
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	1	0
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	7	0	0
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	3	4	0
	⑭	個人情報に十分注意しているか	7	0	0
非常 時等 の 対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	7	0	0
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3	4	0

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	7	0	0
	⑱	事業所の支援に満足しているか	6	1	0